



じゃがいもずきん
「ききほう」くん

防災ワンポイント 第19回 過去の災害

平成6年の北海道東方沖地震を教訓に、10月4日を中標津町防災の日として、毎年防災訓練を実施しています。災害に備えるには、過去の災害を知り、対策を練ることが重要です。今回は中標津町のあゆみと防災計画の記録を元に、中標津町で発生した被害が大きい災害についてまとめました。災害発生前の対策（防災）、災害発生後の対応（減災）について家庭や職場でも話し合ってみましょう。

年 月 日	災 害 名	被 害 状 況
昭和8年1月18日	吹雪	猛吹雪のため養老牛で児童4名、武佐地区で大人1名、開陽地区で児童2名死亡（標津村分村前）
昭和24年12月28日	吹雪	養老牛国有林で下山途中の造林労働者18名が猛吹雪で遭難、5名が死亡
昭和27年3月4日	十勝沖地震	農協、保健所、高等学校等の集合煙突が倒壊。
昭和35年3月13日	融雪害	標津川が氾濫。中標津中学校が孤立、東一条橋流出。母子2人死亡、救助の消防団員1人殉職。
昭和38年1月28日	地震	養老牛市街地中心に震度5（M5.3）
昭和39年2月15日	吹雪	猛吹雪により除雪車遭難
昭和48年6月17日	根室半島沖地震	震源/根室半島南東沖、深さ40km、M7.4、最大震度5
6月24日	（最大余震）	震源/根室半島南東沖、深さ30km、M7.3、最大震度5
昭和54年11月7日	突風	18m/sの突風：建設作業員落下、4人重軽傷
昭和58年3月11日	航空機事故	YS11型機墜落、重軽傷者52人
平成2年5月12日	降雹	自動車1,597台 被害額約4億円、建物等2,229棟 被害額約17億円
平成5年1月15日	釧路沖地震	震源/釧路市南方沖15km、深さ101km、M7.5 最大震度6（釧路市）：中標津町/震度5
平成6年10月4日	北海道 東方沖地震	震源/根室半島沖約200km、深さ28km、M8.2 最大震度6（釧路市、厚岸町）：中標津町/震度5 重軽傷者117人、住家倒壊破損3,499棟、自主避難3世帯、避難勧告17世帯 被害総額 約95億円
平成10年9月16日	台風第5号	被害総額 約1億4千万円 住家被害 床上浸水1棟、床下浸水6棟
平成18年10月7日～9日	低気圧	被害総額 約1億2千万円、住家被害 一部破損25戸
平成19年9月6日～8日	台風第9号	積算降雨量138mm
平成21年12月26日 ～平成22年1月2日	大雪	年末年始70cmの降雪 被害額 約1千万円
平成22年8月7日	局地的大雨	アメダス中標津で最大1時間降水量46.5mmを記録
平成25年3月2日～3日	暴風雪	被害総額 約7千万円、人的被害 死亡5人

被害を受けたものは他にもありますが、地震、水害（融雪含む）、吹雪による災害が多く、これからの季節は吹雪（暴風雪）への対策が必要です。

町では、昨年から独立行政法人防災科学技術研究所 雪氷防災研究センターの『中標津町吹雪発生予測システム』試験運用に協力しています。今年も、「中標津町吹雪情報システム」ホームページで、町内郊外地に設置したライブカメラ映像、観測データ（気温や風速など）が12月から閲覧可能です。開始時には町ホームページやフェイスブックなどでお知らせします。

詳しくは、総務課 防災係まで。